

資料編

資料編目次

1 川崎市内の公衆浴場に関するアンケートの実施について	104
2 庁内アンケート～職員自らが働くまちの食文化を知る～	110
3 川崎区「通称」地名に関するアンケートについて	113
4 生田緑地に関するアンケート結果	117
5 地区観光協会組織事業概略	123
6 生田緑地内の市民参加活動一覧	124
7 市施設内ロケーショ	126
8 バスラッピング車体広告<主要都市圏>に関する調査	127
9 電車車体利用広告<全国>	128
10 政令市の都市観光に対する考え方	129
11 政令指定都市の観光振興基本計画に関する調査	130
12 主要観光施設観光客数	131
13 参考資料一覧	132
14 川崎区をとりあげた資料について	134
15 平成14年度政策課題研究Aチーム活動記録	135

本文中に使用した資料

第1章 川崎市における都市観光 エコリズムを基本とした観光振興のための基本方針	
主要先進国の年間労働時間の推移	3
川崎市の観光の現状と問題点(ブレインストーミングまとめ)	14
第2章 基本方針に関する川崎市の現状を知る～都市観光のまち 川崎を目指すために	
1 2政令市の項目別イメージ順位	16
平成15年度都市観光的要案がある事業	18
1. 酒店などの民間観光情報の提供について	20
2. 観光PRのための民間企業(旅行会社や交通機関等)との連携について	23
3. 観光イベントのPRの手法と行政との関わり方	25
4. 観光ホームページの維持管理について	27
5. 観光PRのための海外メディア活用について	29
6. 海外観光客の誘致、受け入れ態勢について	33
7. 観光案内所の設置状況について	35
8. 観光案内版の多言語化について	37
京都市役所の方に聞いてみました	38
第4章 都市観光のまち 川崎市を目指すために	
市民・行政職員と観光予算の関係(平成14年度)	65
1 3大都市の平成14年度観光関連予算の特性	66
具体的な提案を実現するために(行政・観光協会の組織体制)	76
具体的な提案を実現するために～行政・観光協会・市民・観光客・関係団体の相関図	77
都市観光チーム企画書	78
付録 川崎区・多摩区のガイドマップとカレンダー	
川崎区周辺イベントカレンダーとまちあるきガイド	94
生田緑地開花カレンダーと生田緑地の新しい楽しみ方ガイド	95

1. 川崎市の内公衆浴場に関するアンケートについて

1 ねらい

本研究のテーマとなっている「都市観光をキーワードとした地域文化の再発見と地域振興」の中で、地域再発見の一つとして市内の公衆浴場に関する基本的な情報を把握し、本市の都市観光にどう生かせるか。その可能性について探究するものである。

2 公衆浴場を対象とした意図

現在、市内に101軒の公衆浴場があるが、とりわけ川崎区内にある公衆浴場は現在42軒あり、全体の約42%を占め地域の規模に対する公衆浴場の数としては密集度の高い現況にある。これは臨海部における工業地域の発展により職を求めて人口増加が進み、まだ家庭における風呂普及率も低かったことから、臨海部の工場群の社員寮やアパートに住む労働者達が公衆浴場に足を運び、労働の汗を流すことで心身のリフレッシュを図り、明日への活力を養う環境として公衆浴場が重宝されたのである。そもそも人々とりわけ日本人が日常生活の中でお風呂に入るという行動は、ただ単に体の汚れを落とすだけではなく自己の心身の疲れをとり、リラックスさせるものである。つまり日本人にとってお風呂とは自己を清潔にするだけにとどまらず、プラスアルファを求めておりかつ時間に追われ、時をゆっくり感じるゆとりがない現代社会の人間において時間に追われる緊張感から解放される貴重なひとときなのだ。こうした公衆浴場の情報についてはメディアによるPR活動やテレビ・映画の撮影などに活用されているケースが多い。よって他都市の都市観光政策の一つの柱として掲げられているフィルムコミッションへの本市における政策の発展につながる効果も期待される。

そもそも「銭湯」の発祥は平安時代末期に京都で生まれた湯屋と言われている。しかし、この湯屋を保有していたのは寺社がほとんどであり、この湯屋を慈善事業として施浴という無料の施し湯として発展させたのが公衆浴場のはじまりである。江戸時代になると江戸庶民の憩いの場として親しまれ、現在のような公衆浴場の形式が発展された。この要因としてわが国の風土は湿気が多いためお風呂は人々にとって生活の必需品である。しかし当時の人々にとって家にお風呂を有すことは贅沢なことであった。よって町々に共同の浴場が作られたと考えられる。特に関東地方では公衆浴場ができたところに形成されてきた地域も数多いと言われている。こういったことから公衆浴場は歴史の深い地域資源であると考えられる。よって今後の本市の都市観光における資源の一つとして他の既存資源との相互活用など効果的な手法の構築について検討していきたい。

3 アンケート集計による分析・傾向（表 資-1-1）

はじめにイベントの実施については、組合レベルでの活動実績はあっても、個々の公

衆浴場単位での実施はほとんど見られないことである。これは一般家庭における風呂普及率が90%を超えている現代社会において公衆浴場の経営が苦慮していることが個々の公衆浴場が主体的にアイデアを打ち出せず、これにより行動の消極性を生み出しているのかもしれない。次にテレビ・映画のロケ撮影などの実績は市内全体で約30%であり、また、今後の活用に関しても市内全体で約57%は友好的な意見が出されている。これを見るとフィルムコミッションへの展開に向けて考えられる余地はありそうに思われるが、逆に友好的ではあるが営業へのメリットがないことや迷惑であるといった意見も本市全体で約37%もあり、さらに今後の活用への協力においても市内全体で約59%となっているが回答の内容はあくまでも営業に支障のない程度であることが前提となっており、公衆浴場を経営する側から見ると、テレビ・映画のロケ撮影によってもたらされる商業的観点としての公衆浴場へのメリットは薄いという意識が一般的なのだといえよう。

4 観光資源としてどう生かせるか

公衆浴場というものをどのように活用できるかを考えたとき、現代の一般家庭には生活水準の向上により家にお風呂があることが一般化されてきているため、市民向けへの観光資源としての活用は効果が低いといえよう。

だが、視点を変え外国人の目から見たときに公衆浴場に対する外国人への新鮮さ、インパクトは高いのではないだろうか。外国には日本の公衆浴場のように見ず知らずの人同士が大勢でいっしょにお風呂に入る習慣がないこともあり、果たして外国人に公衆浴場という文化が受け入れられるかということも懸念されるが、日本の企業が中国に温泉産業の振興を図るといった動きもあるため、浸透する可能性も期待できよう。明治時代以降、本市における工業化の発展により歴史が築かれてきた公衆浴場に触れる機会を与えることで、本研究が目指す地域文化に親しみ、それが地域振興につながると考えられる。例えば川崎区は地域の立地上、羽田空港からの利便性も高くかつ多様な国々の外国人が生活している居住環境の特性を生かした政策を提案してもよいのではないだろうか。逆に幸区以北の地域においても観光客を意識した視点で公衆浴場を活かせる観光計画の立案も考えられよう。

最近、東京のお台場に温泉施設が開設され、都心部にあるレジャーパークも温泉施設の設置を進めているように人々が余暇の活用として「お風呂に入る」という生活における人間的行動が、人々が観光を実践するひとつのニーズとなり、観光の一種として成り立つものとなっている。こうしたニーズを本市における都市観光の一要素にできるのではないか。多摩区の生田緑地で自然、歴史、文化、芸術に触れたあとに公衆浴場で疲れを癒すなど合わせ技の観光プラン策定が生まれ、幅広い都市観光の形成が成しえる可能性を秘めている。また、公衆浴場に行き、お風呂に入るだけではなく、市民や労働者との憩いの場に「国際交流」という新しい交流の風を吹き込むきっかけが生まれる。古くか

ら公衆浴場は利用する人々が心身をリフレッシュされる場であり、地域コミュニティの場であった。たしかに現代家庭の生活水準の向上により公衆浴場に行かなくても家庭でお風呂に入れることが一般化され、公衆浴場に足を運ぶ人達は少なくなっているが、市内の公衆浴場には個性が活かされ、特色のあるものはたくさん存在されている。昔ながらの風情ある公衆浴場を保っているものもあれば、露天風呂の設置や日本庭園風など人々が持っている従来の公衆浴場のイメージを脱皮し、現代風にアレンジされた施設や景観を有しているものもある。大都市の住宅地域で露天風呂に入れる環境は貴重な場所ではないだろうか。ある意味都会のオアシスである。こういった要素は本市における地域資源となりえると考ええる。この政策の実現には、外国人でも気軽に利用できる環境づくりも不可欠である。言語表示の多言語化などが挙げられるが、言葉の壁を超えた人と人との交流が図れる場となることが必要である。同じお風呂に入り、憩いを共有し心からの笑顔が交わされるそんな人間味あふれる公衆浴場が観光資源として活かされるためにその方策について考えていかねばならない。

平成15年度 公衆浴場調査データ

Q3 あなたの銭湯で行なっているイベントなどはございますか（浴場組合イベント以外）

項目	全市		川崎区		幸区		中原区		高津区		多摩区		麻生区	
	集計数	割合	集計数	割合	集計数	割合	集計数	割合	集計数	割合	集計数	割合	集計数	割合
1 ある	12	16.2%	10	35.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	7.7%	1	20.0%	0	0.0%
2 ない	62	83.8%	18	64.3%	13	100.0%	14	100.0%	12	92.3%	4	80.0%	1	100.0%
合計	74		28		13		14		13		5		1	

Q4 過去に取材を受けたあるいは映画、ドラマなどのロケで使われたことがありますか。

項目	全市		川崎区		幸区		中原区		高津区		多摩区		麻生区	
	集計数	割合	集計数	割合	集計数	割合	集計数	割合	集計数	割合	集計数	割合	集計数	割合
1 ある	24	31.6%	8	28.6%	4	26.7%	7	46.7%	3	23.1%	1	25.0%	1	100.0%
2 ない	52	68.4%	20	71.4%	11	73.3%	8	53.3%	10	76.9%	3	75.0%	0	0.0%
合計	76		28		15		15		13		4		1	

Q5 今後取材やロケなどが来ることがあったら、協力できますか

項目	全市		川崎区		幸区		中原区		高津区		多摩区		麻生区	
	集計数	割合	集計数	割合	集計数	割合	集計数	割合	集計数	割合	集計数	割合	集計数	割合
1 協力できません	22	30.1%	10	35.7%	2	12.5%	3	23.1%	5	38.5%	1	50.0%	1	100.0%
2 営業時間外であれば貸切も可能	13	17.8%	3	10.7%	0	0.0%	9	69.2%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%
3 営業に支障のない程度	30	41.1%	14	50.0%	10	62.5%	1	7.7%	5	38.5%	0	0.0%	0	0.0%
4 外観だけ	4	5.5%	1	3.6%	2	12.5%	0	0.0%	1	7.7%	0	0.0%	0	0.0%
5 その他	4	5.5%	0	0.0%	2	12.5%	0	0.0%	2	15.4%	0	0.0%	0	0.0%
合計	73		28		16		13		13		2		1	

Q6 取材やロケなどが来ることについてどのように思われますか

項目	全市		川崎区		幸区		中原区		高津区		多摩区		麻生区	
	集計数	割合	集計数	割合	集計数	割合	集計数	割合	集計数	割合	集計数	割合	集計数	割合
1 いいことだと思う	37	56.9%	15	60.0%	8	61.5%	9	69.2%	4	36.4%	1	50.0%		0.0%
2 特に依存はないが、メリットはない	21	32.3%	7	28.0%	5	38.5%	3	23.1%	6	54.5%	0	0.0%		0.0%
3 迷惑である	3	4.6%	1	4.0%	0	0.0%	1	7.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
4 その他	4	6.2%	2	8.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	9.1%	1	50.0%		0.0%
合計	65		25		13		13		11		2		1	

川崎市内の公衆浴場に関するアンケートの実施について

川崎市浴場組合連合会 会員の皆様、日頃より本市各種行政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

私たちは「都市観光をキーワードとした地域文化の再発見と地域振興」というテーマで、総合企画局による庁内公募で集まり、研究会や調査を行っております。

今回研究の一環で、「地域の魅力再発見」として、「かわさきのお風呂屋さんアンケート」と題し、市内公衆浴場の情報を集めております。

川崎市内の公衆浴場情報はマスコミやテレビ・映画の撮影などの方面でのニーズが多いのですが、公衆浴場の情報を提供する際の基本的なデータが不足しているのが現状です。そこで、私ども研究会のメンバーは川崎の魅力の一つとして、公衆浴場の魅力や基礎となる情報を整理し、情報発信をする際の資料に出来ればと考えています。

皆様から提供していただいた情報については、集約した上で、研究会の成果として発表させていただきます。また、川崎浴場組合連合会様へご報告させていただくとともに、貴重な情報源として市役所の各部署で活用させていただきます。

年末のお忙しいところ、大変恐縮ではありますが、アンケートにご協力いただけると幸いです。

なお、回収については川崎浴場組合連合会様あてに提出していただいたものを一括して回収させていただきたいと考えています。よろしく願いいたします。

お問い合わせ先

政策課題研究「都市観光」チーム

川崎市経済局商業観光課 勝山

電話 200-2330

FAX 200-3920

浴場のお名前 _____ 住所：川崎市 _____ 区 _____

お答えいただいた方のお名前 _____ (役職) _____

お答えいただいた方の電話番号 _____ /ファックス _____

HPがありましたら URL (アドレス) http:// _____

問：創業の時期はいつですか？ また、現在の建物はいつ建てられましたか？

創業 (年・年前) / 現在の建物の建設 (年・年前)

問：あなたの銭湯のお風呂自慢は何ですか？

例) 鉱泉を使っている。湯船が4個ある。脱衣場のロッカーは江戸時代からの年代もの、など

問：あなたの銭湯で行っているイベント等がございますか？

1. ない
2. ある(具体的には: _____)

問：過去に取材を受けた あるいは 映画やドラマなどのロケで使われたことがありますか？

1. ない
2. ある(↓詳しく教えてください)

①TV等のタイトル:(_____)

※正式名称がわからない場合は、大体の時期や俳優さんなど覚えていることで
ヒントになるようなことを書いてください

②それはいつ頃ですか？(_____)

③被写体として何が映されましたか？(_____)

④取材を受けたり、ロケで使われたりしたその理由として思い当たるのはなんでしょう？

例 外観が昔ながらのお風呂屋さんの雰囲気を出していたから。

浴場内の壁の絵がきれいだからなど

(_____)

問：今後、取材やロケなどが来ることがあるとしたら、協力できますか？

1. 協力できません
2. 協力できます(↓具体的に、お答えください。)

a.営業時間外であれば貸切も可能です b.営業に支障のない程度で c.外観だけなら
d.その他(_____)

問：取材やロケなどが来ることについてどのように思われますか？

a.いいことだと思う b.特に異存はないが、メリットはない c.迷惑である
d.その他(_____)

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

2. 庁内アンケート ～職員自らが働くまちの食文化を知る～

本研究チームが研究に取り組んできた「都市観光」の概念の一つとして地域に眠っている資源を発掘し、これらを観光資源として昇華させることがある。つまりそのためには地域を知ることが必要となる。観光政策を提言する我々職員が地域にある資源を掘り起こし、自分たちができる観光政策の提案について探究すべきであると考え。そこで、着目したのが「食」である。人間の日常生活において「食」が占める重要性は高く重要なものといえよう。職員が日頃、食事などで利用する飲食店を調査し、分析することにより食に関する情報整理や観光政策への活用を図る。

1 アンケートの概要

市職員が日頃、利用している飲食店に関する調査を実施し、自分が働くまちをどのような形で活用しているかを把握するものである。今回は実験ケースとして市役所本庁舎・第二庁舎・第三庁舎・安田生命ビル（教育委員会・まちづくり局）・川崎区役所に勤務する職員を対象にアンケートを行った。

2 アンケート結果及び分析

回答総数は102件であった。利用する飲食店のエリアとしては、平和通りを中心に職場近郊に集中している傾向が見受けられる。情報媒体で紹介されている飲食店が集積されている駅前周辺にはあまり足を運んでいない。これは飲食店を利用する時間帯は、ランチタイムが多いという回答からみて、職員の昼休み時間は1時間に限られており、時間の有効活用といったところから移動時間を最小限にする職員の意識がみえるといってもよい。次に利用する主な要因として手頃な値段で味がしっかりしていることが特徴である。消費を最小限とし、かつ満足感が持てる食の味を求めている傾向が強いといえよう。また、年代別で見ると利用する飲食店のジャンルにも変化が見受けられる。20～30代の職員は洋食や多国籍料理など幅広い傾向にあり、職員が食に対しいろんな味を楽しんでいる意識が強いと感じられる。逆に50代男性の職員は和食に偏在している傾向がある。こうしたところをみても、食に対する意識の違いが鮮明に浮かび上がっているといえよう。

3 観光資源としてどのように活用できるか

このアンケート結果をどのような形で観光政策に活かせるか。このアンケートのねらいは、日頃、自分たち職員が働くまちをどのように利用しているか。これについて「食」というキーワードを基に地域を知る手法を探ることであった。この調査によって見えたものとして普段、対外的に情報発信が不足し、スポットを浴びてい

ない隠された食に関する情報を効果的にPRできないだろうか。川崎という地域は「働くまち」というイメージが強い。これは集積したオフィスと、臨海部に存在する工場群がそのイメージを強くしているといえるが、むしろ川崎に足を運ぶ多種多様な労働人口者に対し、労働後の憩いのひとときが過ごせるよう、こういった魅力ある食に関する情報を提供することで、人々にまちを知る機会、地域に触れる機会を与える効果が期待できる。これは川崎の主な地域イメージのもうひとつに挙げられる「暮らしやすいまち」にも当てはまるのではないか。川崎という地域の立地形態が南北に横長であることもあり、北部地域に在住している市民が南部地域に関する情報認識が薄い傾向にあることが市民意識調査結果をみても明らかである。人々の暮らしにおける「食」の重要性を考えても、多様な食文化が形成されているJR川崎駅周辺をもっと知ってもらえる機会を提供することが必要ではないだろうか。そのためにはまず情報を知ってもらうことが大前提であるが、我々職員一人一人が始められる情報発信の手法があると考える。

川崎駅東口周辺の川崎市役所職員の皆様へ

私たちは「私たちは「都市観光をキーワードとした地域文化の再発見と地域振興」というテーマで、総合企画局による庁内公募で集まり、研究会や調査を行っております。今回研究の一環で、川崎駅に最も詳しいビジネスマンである川崎市職員の方がよくいらっしゃる飲食店の調査をしています。調査結果は私たちの研究会の成果として発表させていただきます。また、川崎駅周辺の魅力発信の情報源としてHPのコンテンツなど何らかの形で活用させていただきたいと考えております。ご協力よろしくお願い致します。

Q1.市役所近辺おすすめの飲食店とだたいの場所を教えてください

(お店の名前)	(お店の場所)
(和食・洋食・中華・その他())	

Q2.Q1 のお店のおすすめメニューと価格帯を教えてください

(メニュー名)	(ランチ or デイナー or いつでも の価格で) <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 円(位)/1人
(メニュー名)	(ランチ or デイナー or いつでも の価格で) <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 円(位)/1人

Q3.Q1 のお店のおすすめ理由を選んでください(いくつでも)

1. 静かで落ち着いている	5. 大勢で行っても座れる
2. おしゃれな雰囲気	6. コーヒーやデザートなどのセットがつく
3. 安く食べられる	7. 味が美味しい
4. 量が多い	8. その他()

最後に、あなたの事を教えてください。

川崎市役所(区役所) 局 部・課(内線) (20・30・40・50・60 代)
(男・女)

以上でアンケートは終わりです。集計結果をお楽しみに！ご協力ありがとうございました。
<問い合わせ先>

政策課題研究 Aチーム 経済局商業観光課 勝山

電話 200-2330 (直通) 内線 28712 FAX200-3920



3. 川崎区「通称」地名に関するアンケートについて

1 ねらい

本研究のテーマとなっている「都市観光をキーワードとした地域文化の再発見と地域振興」の中で、「地域の魅力再発見」として、「あなたのまちの自慢」と題し、地元の方しか知らない地名情報を集めた。この調査により発掘した地名を川崎区のみどころマップに反映させる予定である。

2 商店街を調査対象とした意図

現在、川崎区内には市内260あまりの商店街があるが、そのうち約3割にあたる84の商店街（中央地区35 大師地区17 田島地区31）が存在している。商店街は地域の商業集積地としての機能に加え、地域コミュニティの核として重要な機能を果たしており、地域に蓄積された情報が眠っていると考えられる。そのような地域情報を収集し、整理、保存ができれば、観光情報としての付加価値を加えることが出来ると思われる。

3 調査項目と調査意図

問：お住まいのまちで、「独特な通称、ユニークな通称」で呼ばれるものはありますか？

（回答例） 平原寺の道路（表参道）、プール道路、市電通りなど

（調査意図） 川崎区では「がっかり橋（ハローブリッジ）」や「プール道路」、宮前区では「どんどん川」など、川崎市内では独特な呼び名で呼ばれている地名がある。このように地域の住民だけが知っている独特の地名の由来を知ること、興味深いエピソードやその土地の風土がたどることを意図し、この調査を実施した。そしてそのような情報が新たな観光情報となりうるか、その可能性を探った。

問：お住まいのまちで、「絵になる風景・好きな景色」はありますか？

（回答例） 大師公園、首都高から見た夜の東扇島の夜景、工場の風景、富士見通りのいちよう並木

（調査意図） 川崎区では川崎駅前周辺やラッタデラ、川崎大師、臨海部、コリアンタウンなどの地域が代表的に知られているが、「都市観光」においては街なみ自体が観光資源としての可能性を秘めていると捉えられている。地元に住んでいる人が薦める「絵になる風景・好きな景色」を調査することで、そのような情報が新たな観光情報となりうるか、その可能性を探った。

問：お住まいのまち、もしくは川崎市内で自慢できる、あるいは自慢したい場所や、お気に入りの場所はどこですか？

（回答例） ラチッタテラ、川崎大師

問：友人や親戚が来たときに、あなたのお住まいのまち、もしくは川崎市で案内するところはどこですか？

（回答例） 川崎港からマリエンを経て浮島へ、川崎大師をみてからコリアンタウンで焼肉を、川崎駅周辺など

問：あまり知られていない穴場的なおすすめの店を教えてください。（自薦・他薦を問いません）

（回答例） サプレーのお店、美星屋（焼肉店）
ポークリ्यूズ（イタリア料理）

（調査意図） 地元住民が積極的に発信したい情報、地元住民が積極的に紹介したい情報を収集することで、そのような情報が新たな観光情報となりうるか、その可能性を探った。

問：お住まいのまちで、「過去にTVや映画、CMのロケがきた」ことはありますか？

（回答内容） ブラックジャック（浅田三栄会にて）
男女七人冬物語（富士見通りいちょう並木）
大師公園（渡辺えり子出演の作品とのこと）

（調査意図） 川崎市では2002年9月から映像関連産業の創出等を目的として「ロケ地川崎推進事業」を行なっていますが、川崎市の施設をテレビ・映画などのロケ撮影に提供しています。今後は市の施設に加えて、民間施設に関しても撮影についても撮影ニーズがあると思われるので、撮影向きのスポットや協力の得られる市内の民間施設などの情報を集約して、映像関係者への情報提供をスムーズに行なうこと、そうした情報を観光資源として活用できることも期待される。

4 アンケート集計について

アンケートへの回答はわずか3通であり、回答率は3.6%という低さであった。一つ一つの商店街に対してヒアリングをし、情報収集をすることが望ましいが、人的予算的制限があり、今回は調査票のみでの調査となった。調査内容については今後必要とされる情報が多いと考えられるので、情報提供者側の負担にならない方法での定期的な情報収集の方法の確立が必要といえよう。（たとえば、他の調査との連携やWEBアンケートの活用など）



商店会の皆様、日頃より本市各種行政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

私たちは「都市観光をキーワードとした地域文化の再発見と地域振興」というテーマで、総合企画局による庁内公募で集まり、研究会や調査を行っております。今回研究の一環で、「地域の魅力再発見」として、「あなたのまちの自慢」と題し、地元の方しか知らない地域情報を集めております。皆様から提供していただいた情報については、研究会の成果として発表させていただきます。また、貴重な情報源として各部署で活用させていただきます。

年末のお忙しいところ、大変恐縮ではありますが、アンケートにご協力いただけると幸いです。

回答についてはFAXにてお願い致します。(なお、郵送での回答でもかまいません。)

FAX番号は200-3920(経済局)です。ご協力よろしくお願い致します。

お問い合わせ窓口(政策課題研究「都市観光」チーム)
210-8577 川崎区宮本町1番地
川崎市役所 経済局商業観光課 勝山 200-2330

商店街のお名前

お答えいただいた方のお名前 (役職) 会長・役員・その他く >

お答えいただいた方の電話番号

お答えいただいた方のFAX番号

問: お住まいのまちで、「独特な通称、ユニークな通称」で呼ばれるものはありますか?

- 1. ない、知らない
- 2. ある 例) 通称: どんどん川(宮前区)

正式名称・場所など: 土橋と犬蔵境の川で2本の川が合流するところ

いわれなど: 泉のようにどんどん水があふれてくるから

(俵万智さんが歌を詠んでいます。)

通称: ()

正式名称または大体の場所: ()

そのいわれ: ()

問: お住まいのまちで、「絵になる風景・好きな景色」はありますか?

例) 時代を感じさせる銭湯の千代湯、きれいな洋館 など

絵になるスポット)

大体の住所・目印となる建物など)

問：お住まいのまち、もしくは川崎市内で自慢できる、あるいは自慢したい場所や、お気に入りの場所はどこですか？

自慢できる場所)

大体の住所)

問：友人や親戚が来たときに、あなたのお住まいのまち、もしくは川崎市で案内するところはどこですか？

施設名等)

大体の住所)

問：あまり知られていない穴場的なおすすめの店を教えてください。(自薦・他薦を問いません)

お店の名前)

大体の住所)

問：お住まいのまちで、「過去に TV や映画、CM のロケがきた」ことはありますか？

1. ない、知らない
2. ある

TV等のタイトル：

(_____)

※正式名称がわからない場合は、大体の時期や俳優さんなど覚えていることで
ヒントになるようなことを書いてください

ロケ地となった大体の場所：(_____)

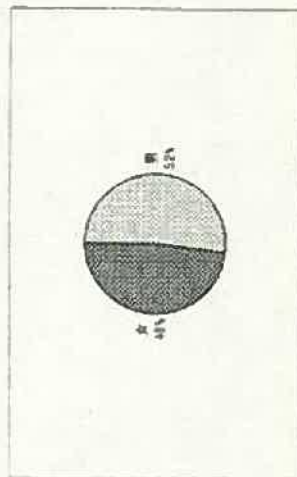


4. 生田緑地に関するアンケート結果

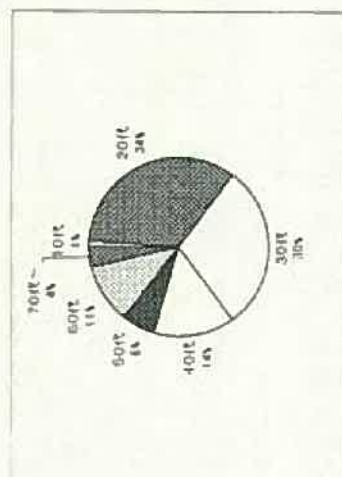
- ◆ アンケート実施日：平成14年12月8日(日)
- ◆ アンケート実施時間：岡本太郎美術館 10:00~16:30
日本民家園 13:00~16:30
- ◆ 生田の天候等：小雨と曇り(気温摂氏7~8℃)
- ◆ 粗定入場者数：岡本太郎美術館 70名程度(10:00~16:30)
日本民家園 308(13:00~16:30)
- ◆ アンケート有効回答数：岡本太郎美術館 62、日本民家園 21
- ◆ アンケート回答率：岡本太郎美術館 約90%、日本民家園 約70%

1. ご自身についてお伺いします。

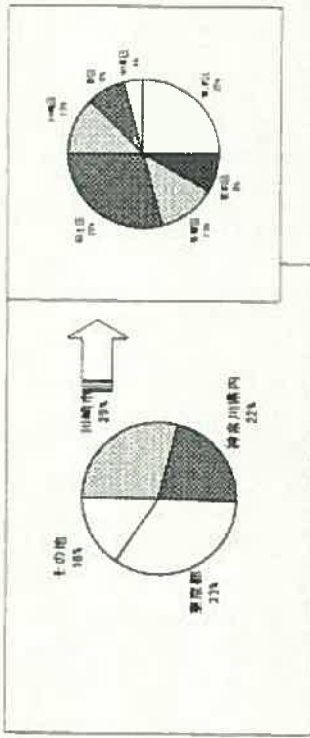
① 性別



② 年齢

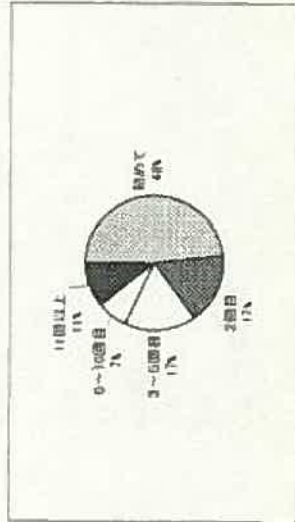


③ お住まいの地域を教えてください。

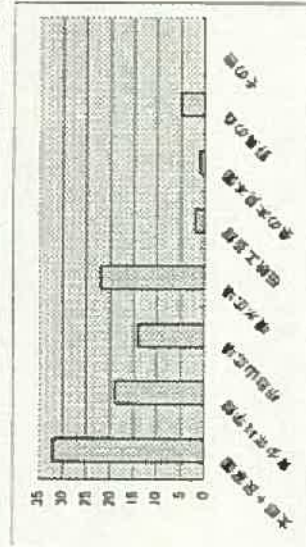


2. 生田緑地についてお伺いします。

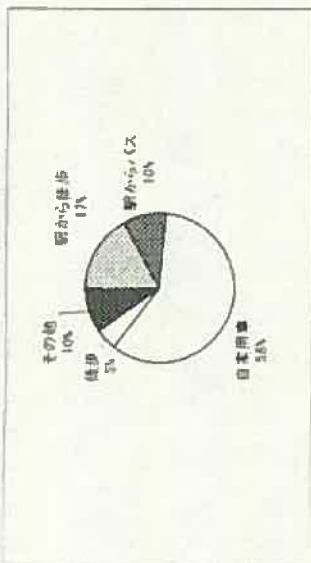
① 生田緑地へ来たのは何回目ですか？



② 生田緑地内で動かれたことがある施設等をお教えてください。(複数回答可)



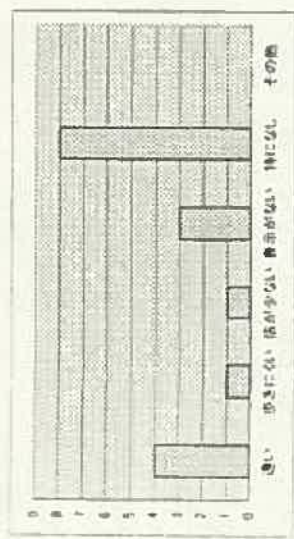
3. ここまでどのような交通手段で来ましたか？



- ◆ その他 (自由回答)
- ・ オートバイ
- ・ 駅からタクシー (5)
- ・ 自転車
- ・ 登戸駅から徒歩

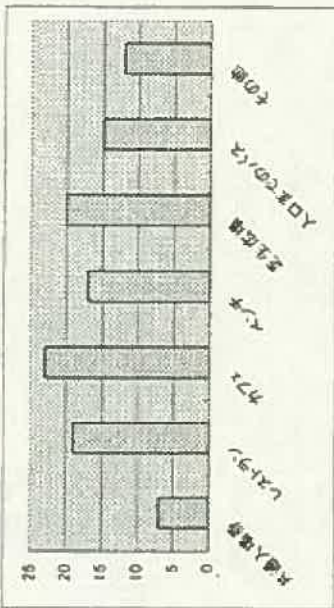
4. 上記で「向ヶ丘遊園駅から徒歩」と答えた方へお聞きします。駅から歩いてきた感想をお聞かせください。(複数回答可)

- ・ 駅から遠い
- ・ 歩道が歩きにくい
- ・ 案内表示が少なくない
- ・ 待たない
- ・ お店が少なくない
- ・ その他 ()



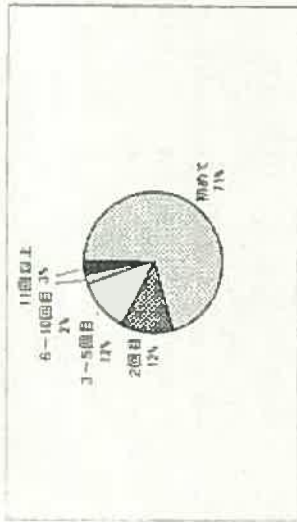
5. 生田緑地にあつたらいいな、と思うものを教えてください。(複数回答可)

- ・ 文化施設の共通入場券
- ・ レストラン
- ・ カフェ
- ・ ベンチ
- ・ 芝生の広場
- ・ 駅からメインゲートまでのバス
- ・ その他 ()



- ◆ その他 (自由回答)
- ・ 遊具
- ・ 古映画展
- ・ 動物園
- ・ 案内の地図のリーフレット
- ・ 待参したもの(お弁当など)を食べたりするスペース
- ・ ないほうがいい
- ・ 季節が良いときはいいが、真夏・冬は足が凍のいてしまいます。もっと数多く来たいので、便がもっといいと思う。
- ・ 民家園はミュージアムショップがあったほうがよい。
- ・ 市民ミュージアムの「つばき亭」のようなものがあるといい。
- ・ 展示室のVTRの前にベンチ
- ・ 陶芸・温泉
- ・ アウトドア施設

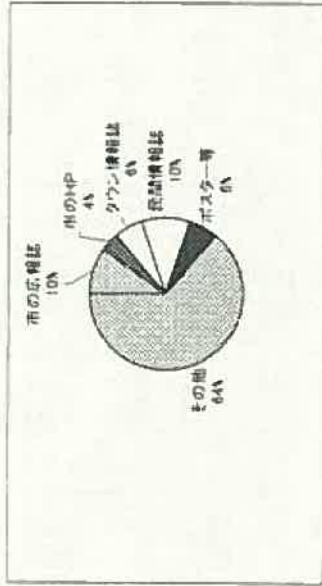
- 3-1. 岡本太郎美術館についてお伺いします。
 2. 岡本太郎美術館へ来たのは何回目ですか？



3. 岡本太郎美術館を訪れた理由についてお聞かせください。
 ・岡本太郎に興味があった
 ・美術館を訪れるのが好きだから
 ・企画がおもしろそうだったから
 ・その他（ ）



- (4) 岡本太郎美術館についての情報をどこで知りましたか。
 ・川崎市の広報誌
 ・川崎市のホームページ
 ・民間の情報誌
 ・宣伝ポスター・チラシ
 ・その他（ ）

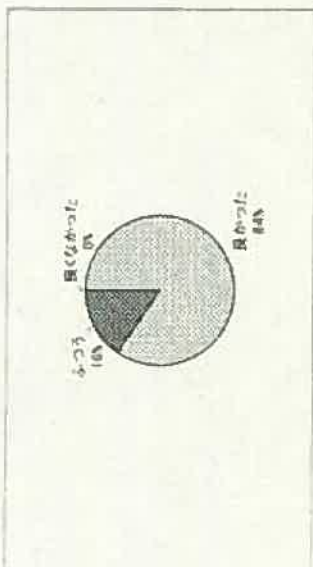


- ◆ その他 (自由回答)
 ・ 地図 (2)
 ・ 大学で村田氏に師事しているため
 ・ インターネット (6)
 ・ 知人から (4)
 ・ 友人から (6)
 ・ 以前来たときに見た
 ・ テレビ
 ・ 美術館ができる前から新聞で見ている。一度は見たいと思っていた。
 ・ 冨田の紹介 (5)
 ・ うわさ

6 岡本太郎美術館を訪れた印象についてお聞かせください。

・開閉したよりの良かった ・ふつう ・あまりよくなかった

理由 ()



◆ 理由 (自由回答)

(よい)

- ・ 美術館としてだけでなく、周辺環境もきめて完成度が高く、ハイレベル
- ・ 常設展に彫刻・絵画等、幅広いジャンルの作品があったので
- ・ 建物もすてき。展示も並べただけでなく、絞ってあって見やすかった。
- ・ 岡本太郎のパワーが素晴らしい。展示の細かな入れ替え、企画の目的のつけどころがよい。
- ・ 感動して胸がいっぱいになり、熱くなった。
- ・ 岡本太郎の才能に圧倒された。
- ・ できたら、スケッチしたい。イメージが膨らむ。
- ・ 建物と展示物があったていた。
- ・ 多くの作品が展示してあり、館内の設計もおしゃれだから
- ・ 生の絵はやっぱり違う。
- ・ 展示方法がおもしろく、楽しく見ることができた。
- ・ 建物に工夫がある。
- ・ 作品がどうの〜という前に建物の造りがかっこいいと思いました。
- ・ 全てが芸術といった感じ。時間があればゆっくり見たいかった。
- ・ 空間が広く、落ち着いていて過ごしやすい。美術館までの道のりも良かった。

(自然)

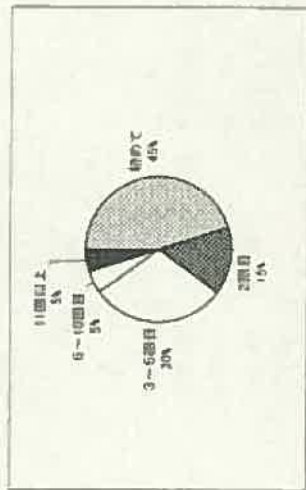
- ・ よい企画展であった。
- ・ 製作の姿勢などを知ることができた。
- ・ ライティングがよい。(重要)
- ・ 楽しかった。

(ふつう)

- ・ 作品は良かったが、もっと太郎さんの絵が多いほうが良かった。
- ・ もっと展示したほうが良いと思う。
- ・ 他の美術館に行ったことがないから。

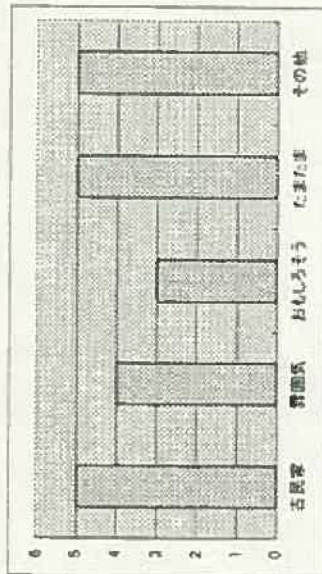
3-2. 日本民家園についてお聞かせください。

① 日本民家園へ来たのは何回目ですか？



② 日本民家園を訪れた理由についてお聞かせください。

- ・ 古民家に興味があった ・ 民家の雰囲気を感じたかった
- ・ おもしろそうだったから ・ たまたま立ち寄った
- ・ その他 ()



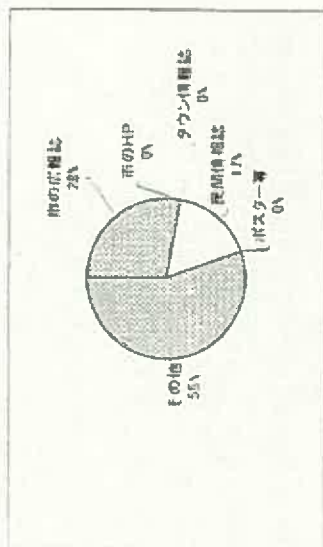
◆ その他 (自由回答)

- ・ 本を買いに来た。
- ・ 子どもの学習のため
- ・ そばが食べたかった。
- ・ 大学の授業の施設見学 (2)

3 日本民衆園についての情報などを教えてください。

- ・川崎市の広報誌
- ・川崎市のホームページ
- ・民衆園の情報誌
- ・重佐ボスター・チラシ
- ・その他 ()

・タウン情報誌

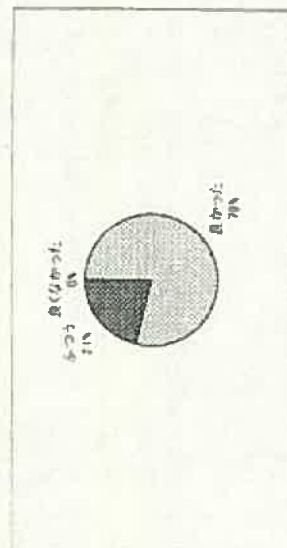


◆ その他 (自由回答)

- ・ 口コミ (2)
- ・ 小学生の頃の通足
- ・ 近所だから
- ・ 知らなかった
- ・ カーナビ
- ・ 昔から知っていた。
- ・ 大学の先生に教えてもらった。

4 日本民衆園を訪れた印象についてお聞かせください。

- ・ 期待したより良かった
- ・ ぶつう
- ・ あまりよくなかった理由 ()



◆ その他 (自由回答)

(よい)

- ・ 田舎の空を思い出した。
- ・ 数十年前に来たときより教材が増し、楽しい。
- ・ 恐るべし

4. 川崎市の観光についてお聞きます。

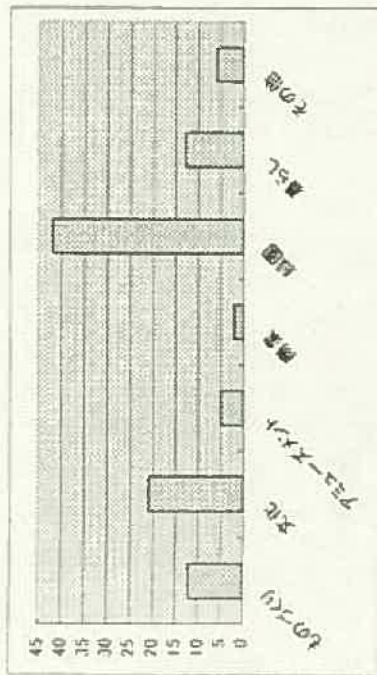
① 川崎市の観光名所として、あったらいいな (楽しい) と思うものは何ですか?

(テーマパーク、温泉等 自由回答)

- ・ 児童遊具施設 (アスレチック等)
- ・ 温泉 (20)
- ・ ハイキングコース
- ・ 遊べて、疲れも取れるような1日中いられる施設
- ・ 多摩川の遊覧船
- ・ 地元なので、特に観光名所が欲しいとは思わないが、緑地のような自然に親しめる施設は充実させて欲しいと思う。
- ・ 動物園
- ・ 市内の名所などを回れるバス等
- ・ ラーメンハウスのようなテーマパーク
- ・ テーマパーク (5)
- ・ やすらぐ場所
- ・ 幼児から小学生まで遊べ、大人も楽しめるテーマパーク

2. 川崎市のイメージとして、「工業都市」「公園」を思い浮かべる人がまだ多いようですが、イメージアップのためにどうすればよいと思いますか？

- 「先端技術・ものづくり都市」をめざしたまちづくりを行う。
- 文化施設等を充実させ「文化・国際都市」をアピールする。
- アミューズメント施設等を誘致するなど、「観光都市」をアピールする。
- 商業施設や飲食店を集積させて、「商業のまち」をアピールする。
- 緑地や公園を整備し、緑豊かな「緑園都市」をアピールする。
- 住みやすいまちづくりを行い、「暮らしのまち」をアピールする。
- その他（ ）



- ◆ その他 (自由回答)
 - ・ 家族で遊べる施設や駐車場が欲しい。自然を生かしたアスレチックなど。
 - ・ ヴェルティ川崎に次ぐスポーツイベント等のアピール
 - ・ 施設の建設よりも住民の暮らしに密着した部分の施設を優先させたほうが良い。
 - ・ 芸術・美術のまち
 - ・ ムダ

5. その他

生田緑地等の川崎市の観光施設。また、川崎市の観光行政についてご意見を自由にお願いします。

(自由回答)

- ・ ここまでの進捗が良かったので、ちょっと怖い感じ (いんちきくさい感じ) がした。除津のコミュニケーションに欠けるのではないか。
- ・ 美術館にきたら、駐車場は無料にして欲しい。
- ・ ローム前面のこと。荷があったのか、説明があると分かりやすい。
- ・ この観を大切に。まちなその緑の中で生かせるようにして欲しい。
- ・ こんな素敵なおもてなしがあったら、南武線のイメージアップ。(急行等をつくる)
- ・ 南武線沿線の商業施設の充実。南武線のイメージアップ。(急行等をつくる)
- ・ 海岸に近いところにも緑地を。
- ・ 交通が不便
- ・ 川崎って広いんだなと思った。
- ・ 雨に弱い。
- ・ 博物館は社会教育のための機関であって観光施設ではない。(多少はそういう側面はあるが)
- ・ 人と自然の調和のとれた施設。
- ・ このまま自然を残して欲しい。
- ・ 猫を見るところがない。
- ・ 向ヶ丘遊園の復活
- ・ もっとPRしたほうがいい。
- ・ こわれた物はなるべく早く早く直して欲しい。

5. 地区観光協会組織事業概略

観光協会名	日付	会費の有無	事業内容
川崎市観光協会連合会			<ul style="list-style-type: none"> ○川崎市の観光協会の総括 ○光のイベント実行委員会への参加 ○多摩川花火大会実行委員会への参加
川崎大師観光協会	1952/8/1	有	<ul style="list-style-type: none"> ○川崎大師平間寺を中心にした観光客誘致事業 ○観光土産品の品質向上と産業観光の紹介事業 ○川崎大師風鈴市の開催 ○観光パンフレットの作成 ○その他一般行事 ○門前町サミット、東海道400年祭の出店
川崎市中央観光協会	1953/7/1	有	<ul style="list-style-type: none"> ○菊花大会開催 ○観光的イベントを含めた新分野での開発研究
丸子多摩川観光協会	1948/4/1	有志	<ul style="list-style-type: none"> ○丸子多摩川観光祭りの実施 ○各種観光事業の振興発展 ○郷土芸能の復活助成
武蔵中原観光協会	1951/4/1	有志	<ul style="list-style-type: none"> ○桜まつり協賛 ○菊花大会の協賛 ○その他関連事業（区民祭など）への参加協力 ○視察研究
住吉観光協会	1952/4/1	有	<ul style="list-style-type: none"> ○渋川の桜木の育成管理 ○桜まつりの実施 ○郷土芸能の実施 ○その他関連事業（地域住民との親睦）
高津観光協会	1948/4/1	有	<ul style="list-style-type: none"> ○市制記念多摩川花火大会の主催 ○高津区民祭への協力 ○菊花展の開催 ○溝口駅前キラリデッキイルミネーション
稲田多摩川観光協会	1947/4/1	有志	<ul style="list-style-type: none"> ○多摩川美観事業 ○菊花大会の後援 ○梨もぎとり客誘致事業 ○桜木の維持管理
稲田堤観光協会	1952/4/1	有	<ul style="list-style-type: none"> ○梨もぎとり客誘致事業 ○管楽師獅子舞及び子之神社「おまと」の実施 ○菊花大会の実施
麻生観光協会	2001/2/24	有	<ul style="list-style-type: none"> ○麻生川桜まつり ○麻生区民祭り ○菊花展

〈観光協会への期待〉

川崎市内には9つの観光協会が存在していることは意外と知られていません。それぞれ長い伝統があり、蓄積された人やもの、地域に関する情報があるといえます。また、それぞれで事業をやっており、川崎市観光協会連合会がそれらの団体を束ねています。川崎市は観光の分野が未成熟であるため、今後は既存の事業に加えて、観光情報の発信や観光ボランティアガイドの創設など観光客を意識した積極的な観光事業の受け皿としての役割が期待されます。

6. 生田緑地内の市民参加活動一覽

北部公園事務所関係

団体名	人数	活動内容	活動場所・範囲	活動頻度
生田緑地の雑木林を育てる会	会員数 3 5名 応援者 9名	・雑木林の保全整備 ・ツツシ・アシサイの剪定 ・葛その他の除去 ※北部公園事務所と協働しながらの活動	生田緑地	1回/月 (第2, 4日曜日)(8月を除く)
生田緑地のホトケドジョウを守る会	5~10人	・ホトケドジョウ復元池の観察 ・ホトケドジョウについての学習・啓蒙活動	生田緑地内の4つの復元池	1回/月
多摩区の緑と水を考える会	14名	・多摩区の自然環境を考える学習会 ・2回/年(5月, 10月)講師を招いての自然観察 ・生田緑地枳形山, 噴水広場整備計画に市民代表として協力(平成4年)	川崎市及び周辺地域	1回/月(第3水曜日)
飛森谷戸の自然を守る会	50名(常時 20~30名)	・雑木林の間伐や下草刈り作業, 整備(第2日曜/月) ・とんちり川(用水路)の清掃作業等(第2日曜/月) ・植樹(コナラ, クヌギ等) ・初山親水公園の清掃, 整備作業 ・自然観察会(夏, 秋3回) 森の学習会 ・市民交流会(長野県佐久市大沢財産区議会, 群馬県尾瀬片品村) ・森の音楽会	初山神社跡地(故郷の森)を中心とした地域 ・源流(初山の池/滝沢の池), とんちり川(用水路), 思い出の謡の小路(やすらぎの森), ふるさとの小路, 初山親水公園	1回/月(第2日曜日) 他に自然観察会, 森の音楽会, 竹炭焼き音楽会を不定期に行っている。
登戸地区子ども会連合会	10名	・緑地内の美化活動や除草	生田緑地(ホテルの里付近)	6回/年
生田緑地雑木林勉強会	45名	・生田緑地の目標とする自然について考える。 ・生田緑地の植生管理のあり方を考える。 ・生田緑地で活動している団体の交流の場となる。 今後は, 植生について参考になる事例の見学, 他団体との交流, 植生管理のモニタリングも行う予定。	生田緑地	6~10回/年

日本民家園関係

団体名	人数	活動内容	活動場所・範囲	活動頻度
炉端の会	約133名	人気のない古民家に人のぬくもりを与え、現代に息づかせるための活動をしている。 ・ 囲炉裏で火をたいて、煙で民家を虫や腐敗から守り、(くん煙) 清掃を行う。 ・ 入園者に対して家屋や民具の解説をする。 ・ 古民家内で火をたいたり話をすることで、空家に人のぬくもりを与え、見学者との交流を図る。 ・ 民家園主催の行事への協力	日本民家園内	平成5年～ ・ 1日2棟の床土公開 ・ 月1回の例会・学習会等
川崎文化財友の会				

青少年科学館関係

団体名	人数	活動内容	活動場所・範囲	活動頻度
かわさき自然調査団	110名	植物、野鳥、昆虫、きのこの等の調査を行い、また、その知識を生かして生田緑地観察会で解説を行う。	川崎市内	昭和58年～ 週1回の観察会のほか、随時学習会の実施
生田緑地のホトケドジョウを守る会	5～10人	前述「北部公園事務所関係」記載のとおり。北部公園事務所と青少年科学館の連携のもと活動を行っている。		
生田緑地雑木林勉強会	45名	前述「北部公園事務所関係」記載のとおり。北部公園事務所と青少年科学館の連携のもと活動を行っている。		

岡本太郎美術館関係 現在はなし。他の美術館では、市民による館内ガイドを行っている所もあるので、将来的には市民参加の方向も考えられる。

伝統工芸館関係 現在はなし。藍染め体験の講師は職員が担当している。

生田緑地内ばら苑 (行政が募集)

団体名	人数	活動内容	活動場所・範囲	活動頻度
ばら苑ボランティア	681名	バラの育成管理、ばら苑の管理	ばら苑内	平成14年7月～

7. 市施設内ロケ一覧

受付年月	NO	タイトル	種別			出演者	使用用途施設	撮影日	放映日	放映・放映先	備考
			新進映画	TVドラマ	CM						
2002.8	1	地師大敵	○			伊原広司	川崎市に設けられた撮影所	2003年5月予定	東映	本庁舎3F(撮影所)、1F(廊下)	
2002.9	2	衛星システムのPRビデオ			○	モテル	川崎撮影所	2002年10月	衛星イベント企画	放送局撮影所	
2002.10	3	空から見た市の様子 ワルトラングコスモス 4 VS ワルトラング	○		○	川崎市職員 杉浦太郎 坂石一貴	市職員が働いている様子 会議室・待合室 川崎西口東芝跡地	10月 12月3日	社会教育教材 松竹	第3庁舎6F(撮影所) 学校教員用ビデオ 第3庁舎18F(大会議室) 7F(防犯対策室)	
	5	星條の十字架		○		玉置祐典	病院	11月24日	フジテレビ	川崎病院	
2002.1	6	忍漫野真		○		松田雄平	病院	1月12日	松竹	川崎病院	
	7	美女が野郎		○		松崎奈々子 藤山真由	第3庁舎18F(大会議室) 本庁舎駐車場	12月23日 12月28日	フジテレビ	第3庁舎18F(大会議室) 本庁舎駐車場	
	8	ぐるみプロモーション			○	くるみ	川崎撮影所	11月5日	2002年12月~	川崎撮影所	
	9	運轉しちゃうぞ		○		伊東美咲	第3庁舎18F(大会議室)	12月1日	テレビ朝日	第3庁舎18F(大会議室)	
2002.1	10	みにくいアヒルの子		○		岸谷五朗	家庭裁判所・警察署に写る所	1月15日	フジテレビ	本庁舎(大会議室)	
	10	みにくいアヒルの子		○		岸谷五朗	病院	1月26日	フジテレビ	川崎病院	
	10	みにくいアヒルの子		○		岸谷五朗		1月28日	フジテレビ	富士野動物園	
	11	メッセージ		○		真中暲	病院	12月28日	日本テレビ	川崎病院	
	12	スカイハイ		○		秋田美子	病院	2月26日	テレビ朝日	川崎病院	
2003.1	13	仕事 若松理博		○		尾崎英樹	警察署、病院	2月11日	テレビ朝日	川崎病院	
	14	美女が野郎		○		松崎奈々子	川崎撮影所	1月19日	フジテレビ	川崎病院	
2003.2	15	カードGメン		○		片平なぎさ	大会議室	2月9日	TBS	第3庁舎18F(大会議室)	
	16	お嬢さんご一緒		○		水野真紀	第3庁舎(大会議室)	2月8日	フジテレビ		
		お嬢さんご一緒		○		水野真紀	病院	2月18日	フジテレビ	川崎病院	
	17	はみだし刑事 真動環		○		柴田雄兵	病院(玄関、ロビー)	2月22日	テレビ朝日	川崎病院	

<ロケ地川崎推進事業について>

川崎市では2002年9月から映像関連産業の創出等を目的として「ロケ地川崎推進事業」を行なっていますが、川崎市の施設をテレビ・映画などのロケ撮影に提供しています。
市の施設に加えて、民間施設についても撮影ニーズがあると思われるので、撮影向きなスポットや協力いただける市内の民間施設などの情報を集約して、映像関係者への情報提供をスムーズに行なうことに加えて、観光資源として活用できることも期待されます。

8. バスラッピング車体広告〈主要都市圏〉に関する調査

平成14年4月1日現在

	電鉄名	運行エリア・路線等	広告面仕様	広告面積	期間	掲出料金(円)	備考
札幌	札幌市営バス	札幌市内	ペイント	30㎡以内	1年	1,440,000	
	札幌バス	札幌市内	ペイント	30㎡以内	3年	1,800,000	
	北海道中央バス	札幌市内	シート	全面(両側面+前後面)	1年	1,440,000	(値元費、申請手数料別途)
名古屋	名古屋市営バス	基幹1号	シート	全面(両側面+後面)	1年	1,300,000	栄～高辻～鶴尾車庫
		基幹2号				1,700,000	栄～茶屋ヶ坂～引山
		部心ループバス				1,500,000	栄～茶屋ヶ坂～猪高車庫 名古屋駅～茶屋ヶ坂～猪高車庫
	名鉄バス	名古屋	シート	30㎡以内	1年	1,400,000	名古屋駅～ランの館～名古屋駅
京阪神	大阪市営バス	大阪市内	シート	全面(両側面+後面)	1年	1,500,000	1部ガラス面も使用可
		3号系統			6ヶ月	1,278,000	JR大阪駅～JR溝畑駅～四ツ橋～JR大阪
	大阪空港バス	大阪	シート	30㎡以内	1年	1,800,000	
	近鉄バス	大阪	シート	30㎡以内	1年	1,600,000	
	阪神バス	大阪	シート	両側面3㎡、後部1㎡以内	1年	1,300,000	
	阪急バス	大阪	シート	30㎡以内	1年	2,200,000	
	南海バス	大阪	シート	側面1200mm×6500mm 後部面1200mm×2100mm	2年	2,600,000	
	京阪バス	大阪	ペイント	全面(両側面+後面)	1年	1,200,000	
	京都バス	京都	シート	全面	2年	2,400,000	
	神姫バス	神戸	シート	全面(両側面+後面)	1年	1,200,000	
広島	広島バス	広島	ペイント+シート	7㎡以内	1年	660,000	
	広島バス	広島市内	ペイント	全面	1年	960,000	
広島郊外		ペイント	600,000				
九州各市区	昭和バス	佐賀・福岡	シート	全面(両側面+後面)	1年	950,000	
	佐賀市バス	佐賀	シート	全面(両側面+後面)	1年	1,200,000	
	祐徳バス	佐賀	シート	全面(両側面+後面)	2年	1,200,000	
	長崎バス	長崎	シート	窓下(両側面)	1年	1,000,000	
	長崎県営バス	長崎	シート	窓下(両側面)	1年	1,200,000	
	西肥バス	長崎	シート	窓下(両側面)	1年	960,000	
	佐世保市バス	長崎	シート	窓下(両側面)	1年	600,000	
	九州産交バス	熊本	シート	全面(両側面+後面)	1年	1,200,000	
	熊本電鉄バス	熊本	シート	全面(両側面+後面)	1年	840,000	
	大分バス	大分	シート	全面(両側面+後面)	1年	900,000	
	大分交通バス	大分	シート	全面(両側面+後面)	1年	700,000	
	鹿児島市バス	鹿児島	シート	両側面窓下各4㎡ 前後面窓下各1㎡	1年	630,000	

＜ラッピングバスについて＞

川崎市では2003年度早々にも屋外広告物条例を改正し、バスや電車の車体に広告を貼ったラッピングバス車両を市内で全面的に運行できる態勢を整える予定です。現在、市条例では市街の美観保護と危言防止、事業者の識別性の確保を目的に1974年に屋外広告物条例が施行され、市内でのラッピングバス車両走行が厳しく制限されてきました。川崎市では、市街で車両登録され、市条例の適用を受けないバスのみラッピングバスが走ってきました。(注意 従来よりラッピングバスによる公的な広告に関しては可能)横浜市、東京都ではすでにラッピングバスに対する規制緩和は行なわれており、社会的な認知度は上がっています。またバスや鉄道乗客の新たな収入源として期待され、経済の活性化にも寄与するとの期待がもたれており、川崎市ならではラッピングバスであれば、イメージアップに一役買うかもしれません。

9. 電車車体利用広告〈全国〉

平成14年10月1日現在

	電鉄名	広告面仕様	広告面積	期間	掲出料金 (円)	備考
北海道	札幌地下鉄	ステッカー・部分広告	H500×W480mm 1両4面(片側2面)掲出1616枚(納入2000枚)	6ヵ月 1ヵ月	12,000,000 2,000,000	南北142両・東西182両・東豊80両
	札幌市電	ペイント・全面広告	窓・ドアガラス・天井部除く全面	1年	2,160,000	1両編成、復元費60万円(契約時前納)
	函館市電	ペイント・全面広告	窓・ドアガラス・天井部除く全面	6ヵ月	600,000	1両編成 復元費別途
首都圏	JR山手線	シート・部分広告	1車両1側面1/10以下(約5㎡まで)	半月	21,000,000	ADトレインとのセット販売
	営団 銀座線 丸ノ内線	シート・部分広告	窓・ドアガラス部除く側面 1車両面積1/10以下	1年	18,000,000	6両1編成 銀座線、丸ノ内線 単線1編成の販売 各6編成まで販売
				6ヵ月	10,000,000	
				3ヵ月	6,000,000	
				1ヵ月	2,500,000	
	都営地下鉄大江戸線	シート・全面広告	窓・ドアガラス部除く側面	1年 1ヵ月	15,000,000 1,500,000	8両編成 43編成
	京上総	シート・部分広告	片側面9.6㎡(両側面可)、3ヵ所以内・運転席1/10以下	6ヵ月	7,500,000	10両編成・8000型・9000型・10000型
				1年	11,500,000	
	東武本線	シート・部分広告	1ヵ所H500×W1000mm以下 3ヵ所以内	6ヵ月	1,300,000	6両編成・8000型・10000型
				1年	2,400,000	
	東武野田線	シート・部分広告	片側面H500×W3000mm以下(両面可分割可) 運転席 H600×W1000mm	6ヵ月	2,600,000	6両編成・8000型
				1年	4,800,000	
	東武地下鉄乗り入れ線	シート・部分広告	片側面4.6㎡(両側面可)、3ヵ所以内・運転席1/10以下	6ヵ月	7,500,000	8両編成・20000型
				1年	11,500,000	
	東京モノレール	シート・部分広告	窓・ドアガラス部除く側面 1車両1/10以下	1年	19,200,000	6両編成 19編成中18編成
				6ヶ月	10,800,000	
				3ヶ月	5,700,000	
1ヶ月				2,000,000		
多摩モノレール	シート・部分広告	窓・ドアガラス部除く側面 1車両1/10以下	1年	4,000,000	4両編成 9編成	
			6ヶ月	2,000,000		
			1ヶ月	400,000		
ゆりかもめ	シート・部分広告	側面窓下・屋根・前面	1年	8,840,000	6両編成 5編成	
			6ヶ月	4,560,000		
			3ヶ月	2,330,000		
			1ヶ月	800,000		
都電荒川線	シート・部分広告	30㎡以内	1年	500,000	1両編成	
東急世田谷線	シート・全面広告	窓・ドアガラス部除く側面	6ヶ月	2,500,000	2両編成	
江ノ電	ペイント・部分広告	全塗装 600mm×3000mm4面	6ヶ月	8,300,000	2両編成 全塗装 全面カラーリング 県条例により左記広告スペース	
	シート・部分広告	部分シート600mm×3000mm4面	6ヶ月	4,100,000		
横浜市営地下鉄	シート・部分広告	1車両窓下30㎡以内	1年	15,000,000	6両編成	
名古屋	名古屋名城線	シート・全面広告	窓・ドアガラス部除く側面	1年	12,000,000	
	名古屋地下鉄	ステッカー・部分広告	B2 6面(片側3面) 約240両	1年	約20,000,000	全編成中約1/3編成
大阪	大阪地下鉄御堂筋線	シート・全面広告	窓・ドアガラス部・前後部除く側面	1年	30,000,000	10両編成
	大阪地下鉄	ステッカー・部分広告	H470×W400mm 1両2面(片側1面) (納入2100枚)	1年	20,400,000	長堀・御見線地線除く各線
	大阪モノレール	シート・全面広告	窓・ドアガラス部・前後部除く側面	1年	12,000,000	4両編成
	阪堺電気軌道	ペイント・全面広告	窓・ドアガラス部除く側面	2年	2,900,000	塗料(5色以内)
	広島電鉄(市内)	ペイント・部分広告	全塗装 広告スペース片面4㎡	1年	4,080,000	1両編成
長崎	西鉄電車	ペイント・部分広告	広告スペース片面3㎡	1年	5,000,000	3両編成
	長崎電気軌道	ペイント+シート・部分広告	前後300mm×500mm 窓下2ヶ所500mm×2700mm ドア600mm×600mm	1年	4,680,000	1両編成
	鹿児島市電	ペイント+シート・全面広告	窓・ドアガラス部除く全面	1年	2,520,000	1両編成
	熊本市電	シート・部分広告	広告スペース5.3㎡以内	1年	3,000,000	1両編成 全面カラーリング

10. 政令市の都市観光に対する考え方

都市観光に関するキャラクターズなど		各都市の都市観光に対する考え方について観光振興基本計画を筆者に整理したもの	
札幌市	住んで快書 訪ねて楽しいまちづくり 札幌を舞台とした交流活動の促進 世界の乗客交流都市としてのホスピタリティの向上	<ul style="list-style-type: none"> 札幌の歴史と風土を生かし、札幌者が良好かつ品格あふれる都市イメージを築くようなまちづくり 歩いているだけで楽しめるような魅力的で活力のある中心市街地として整備 札幌駅周辺周辺地区及び北海道庁旧本庁舎など歴史的景観資産の周辺地区において、札幌者に札幌のイメージを印象づけるような都市景観の形成 	
仙台市	観光振興の基本方針「自然と都市が響きあう、新しい都市観光の展開」	<ul style="list-style-type: none"> 訪れた人々と市民との交流活動を進め、あらたな文化の創造を促し、豊かな都市魅力の醸出 温かいおもてなしの心の一つひとつを磨んで、札幌者の次の訪問につなげる。 	
千葉市	なし	<p>仙台市の観光振興は、「社の部」に象徴される自然的資源、伊達正公の城下町としての歴史・文化的資源、様々な高級都市機能の集積による都市的資源に人別され、本市では、博物館や美術館をはじめとする文化的施設、コンサートや劇団などの文化イベント、ショッピングや飲食、さらには街路や公園の整備など、日常的空間の妨を減らし観光と、山、川、海、温泉などの自然資源に包まれ、様々な体験を通してその豊かさを加えたい。このように、これらの資源を単体としてではなく、都市機能とともに自然、歴史・文化を併せて享受できるという、「自然と都市のパラドクス」といった総合的な都市の質を高めていくことができれば、来訪者の深い「複合的」「統合的」な観光の魅力を生み出している。これを山並みの観光の特性として打ち出しながら、この都市全体のスタンス・ただまずまいが訪れる人々に感動や共感、やすらぎをもたらさし、より多くの人が行き交い、触れ合うことにつながっていく、新たな都市観光を展開していく。</p>	
川崎市	なし	<p>指定検討中</p>	
堺市	なし	<p>指定検討中?</p>	
堺市	なし	<p>平成15年度完成予定</p>	
名古屋市	「産業遺産」	<p>都市観光という言葉を総合計画に出てきている。名古屋は歴史や文化を得持っている都市であり、その魅力を生かした観光の推進を掲げている。既設施設に加え、大都市名古屋のヒコネスや文化に関する南瀬川や巨大な消費マーケットとしての賑わいを生かしてデザインやアート、真文化ショッピングから新しい都市観光の芽をほぐすことを掲げている。また、ものづくり文化という名古屋らしさを観光の目玉として掲げている。(産業遺産)</p>	
京都市	なし「都市観光」という文書そのものの記述はない	<p>「大都市機能と京都固有の面々風情や自然歴史の風土を併せ持つ」というのが国際観光都市・京都の大きな特徴である。そうした都市の魅力をゆとりと折いて体験し、観光することができると京都市は、まち全体がミュージアムである。「京都は、世界文化遺産や歴史遺産をはじめとして、平安朝以来の歴史と伝統によって築かれた世界に誇る『日本の歴史が唄える都市』である。そして、四季折々の美しい自然景観や歴史と伝統に育まれた文化・芸術・産業・大学などが市内各地に魅力的に盛り込まれており、これらの豊かさを都市機能の中で市民生活が豊かになっている。このように京都の持つ『ほんまの』の魅力を再発見、向上を図るとともに、『等から読み取れる。』(「都市観光」という文書そのものの記述はないが、当然のこととして)</p>	
大阪市	なし	<p>地元市民や商賈主、ホラチン、NPOなどが主体となって、エリアの持つさまざまな特色や個性を活かし、まち自体の魅力をさらに高めることで、都市の活性化を図ろうとするものであり、観光と観光以外の取り組みも多く取り入れられている。今後とも多くの取り組みが期待されている。国際観光都市づくりを推進することについては、いかに大きな経済効果を生み出せるかという戦略的な視点に立って、庁内関係部局、民間関連業界及び市民・NPOとの連携を一層強化し、さまざまな分野にわたる総合的・協働的な展開を図っていく必要がある。</p>	
神戸市	なし	<p>商業の発展、都市の活性化、コンベンションの誘致による情報発信機能の強化、高度集約型産業都市の構築などが基本計画の中で触れられている。(観光都市化を全面に出している一方都市観光への取り組みを明確には示しておらず、既存の集約施設を観光資源として活用することが全面に示されている。)</p>	
広島市	「都市観光」が明記されている	<p>広島市は都府県であることから、原簿ドームなど歴史遺産を有している都市である。また、瀬戸内海など自然豊かな観光資源も豊富であり、これらを生かした都市観光の推進を掲げている。都市のイメージとして平和記念公園に依存した単一観光型から観光を取り組むべきである。国際観光都市づくりを推進することについては、いかに大きな経済効果を生み出せるかという戦略的な視点に立って、庁内関係部局、民間関連業界及び市民・NPOとの連携を一層強化し、さまざまな分野にわたる総合的・協働的な展開を図っていく必要がある。</p>	
北九州市	都市観光について明確に提示してはいないが、理想の観光都市像としては以下のとおり	<p>(定義付けが都市観光そのものである、)</p> <p>(学習の要素を強く盛り込んでいる一産業観光に力を入れている)</p>	
	安全快適観光都市	きれいな安全 観光振興の推進体制の整備	
	歴史文化観光都市	歴史文化 自然の保護と観光振興の展開	
	国際交流観光都市	アジアとの連携 異文化理解の促進と観光システムの展開	
	学びの観光都市	知識や経験を生かした学習の展開	
	国際型観光都市	産学連携	
福岡市	なし	<p>総合計画に内包されている部分からは「都市観光」という文書そのものの記述はない。</p>	

1.1. 政令指定都市の観光振興基本計画に関する調査

	計画名	所定年度	策定の背景・所定計画の有無、特徴等
札幌市	札幌市観光振興促進プラン	平成14年度	平成2年6月の「札幌市観光基本計画」を策定後、10年経過しており、新たな時代の課題に即える観光施策を展開する必要性が高まってきた。本プランは本市観光行政を取り巻く情勢変化を踏まえ、キーワードを「観光交流促進」として、さまざまな目的で本市を訪れる人々を積極的に観光交流に結びつける施策の基本方針と事業展開をまとめた。企業や市民一人ひとりが観光交流促進の担い手であることを重視し、パートナーシップによる「観光交流」の促進を図るため、さまざまな分野の市民活動との連携を図り、本市を訪れる人を増やし、市民と交流する機会を創出し、活発な観光を促進することを目指すことを視野に入れていく。
仙台市	仙台市観光基本計画	平成11年度	仙台の特性を活かしながら都市の魅力づくりを進めることなどを通じて、観光・コンベンション機能を強化し、人や情報などの交流を拡大していくことは、地味経済への波及効果が大きく21世紀の基幹産業の一つである観光産業を振興し、ひいては、都市に新たな活力を生み出していくため、専ら観光の振興に取り組んでいく。
千葉市	なし		所定検討中
川崎市	なし		所定検討中?
横浜市	なし		平成15年度完成予定
名古屋市	名古屋新世紀計画2010	平成12年度	この総合計画は平成10年の名古屋ビジョンを継承する形で策定されている。都市観光という言葉が総合計画に出てきている。名古屋は歴史や文化を持っている都市であり、その魅力を生かした観光の推進を掲げている。既存施設に加え、大都市圏名古屋のビジネスや文化に関する機能集積や巨大な消費マーケットとしての賑わいを活かしてデザインやアート、食文化、ショッピングから新しい都市観光の姿を模索している。また、ものづくり文化という名古屋らしさを観光の目玉として講らえている。(産業界)
京都市	京都市観光振興推進計画 ～おこしやすプラン21～	平成12年度	年間観光客数500万人の達成を目標に掲げた京都市基本計画(平成13年1月作成)を具体的に行動するための計画として、京都市観光振興推進計画(おこしやすプラン)を策定している。計画は、京都市観光振興推進会議(市長を議長として、副議長、収入役、各局長、役員、その他必要と認められる職員により構成)において、市民、関係団体、宇津言の意見を踏まえながら策定した。
大阪市	文化観光アクションプラン 一果て見て楽しいまちづくり～	平成14年度	平成13年度の「大阪市の観光動向調査」の調査の中継推計結果では、平成5年度の調査開始以来、初めて観光ビジターが1億人を、また、宿泊を伴う観光ビジターが急増し、1,000万人を突破する見込みとなっており、大阪への観光という目標は相当程度軌道に乗ってきていると見える。今後は、これまでのハード整備中心の施策展開から、ハード整備の成果を活かしてソフト面を中心のまちづくりへと重点を移していくべき段階に至っている。国際観光都市づくりにおいても、大阪経済全体の活性化につながるような効果的な施策展開が一層強く求められることから、消費支出額の大きい宿泊ビジターを主たるターゲットに加え、ビジターの長期滞在の促進と、周遊性の向上に努めなければならぬ。
神戸市	市の基本計画の中で方向性を示している		産業の発展、都市の活性化、コンベンションの誘致による情報利便機能の強化、高度集客型商業都市の構築などが基本計画の中で触れられている。
広島市	広島市観光振興ビジョン	平成3年度	魅力ある街づくり、都市サービスの豊かさを観光客に提供し体験してもらうことが都市型観光の姿である。都市のハイテクシティ、アムネシティの向上、アイデンティティの確立、ホスピタリティの充実などが重要と考える。
北九州市	北九州市観光振興計画	平成7年度	平成元年1月の「北九州市観光振興会議」にもとづく、「生活圏地としての観光地作り 都市づくり」がスローガンである。・「ルネッサンス構想(=街づくりのビジョン)」に基づき「観光立都市の推進」により第一回観光振興計画づくりが重要と考へ、観光立都市という形で観光振興を前面に出している。
福岡市	新基本計画「2015年の福岡のまちづくりのため」 (政策目標14もてなしの心に導かれた国際観光文化都市) ビクター・ズインダストリー(集客産業)の振興	平成14年度	総合計画に内包されている。基本計画の中で具体的な数値目標を得ている。入れ込み観光客数1,560万人(2000年)を2,000万人(2015年)延べ宿泊客数475万(2000年)人700万人(2015年)コンベンション開催予定件数1,594件2,800件 など

12. 主要観光施設観光客数

(商業観光課調べ)

施設名	平成2年	平成7年	平成2年と	平成12年	平成7年と	平成13年	平成12年	平成2年
			との比較		との比較		との比較	との比較
東芝科学館	152,626	148,178	97.1%	112,793	76.1%	110,580	98.0%	72.5%
構成比	1.26%	1.01%		0.91%		0.86%		
日本民家園	98,743	95,121	96.3%	97,010	102.0%	89,383	92.1%	90.5%
構成比	0.81%	0.65%		0.78%		0.70%		
向ヶ丘遊園	989,330	643,043	65.0%	580,583	90.3%	668,925	115.2%	67.6%
構成比	8.17%	4.39%		4.67%		5.22%		
よみうりランド	1,264,873	1,413,000	111.7%	536,079	37.9%	484,270	90.3%	38.3%
構成比	10.44%	9.64%		4.31%		3.78%		
川崎大師	8,546,000	11,280,000	132.0%	10,070,000	89.3%	10,470,000	104.0%	122.5%
構成比	70.53%	76.97%		80.94%		81.73%		
フルーツパーク	61,847	50,051	80.9%	55,735	111.4%	55,212	99.1%	89.3%
構成比	0.51%	0.34%		0.45%		0.43%		
夢見ヶ崎動物公園	527,000	358,750	68.1%	294,700	82.1%	279,000	94.7%	52.9%
構成比	4.35%	2.45%		2.37%		2.18%		
菟野園	130,860	128,781	98.4%	171,865	133.5%	156,411	91.0%	119.5%
構成比	1.08%	0.88%		1.38%		1.22%		
緑化センター	40,670	69,805	171.6%	83,698	119.9%	77,132	92.2%	189.7%
構成比	0.34%	0.48%		0.67%		0.60%		
市民ミュージアム	236,431	127,329	53.9%	81,508	64.0%	82,844	101.6%	35.0%
構成比	1.95%	0.87%		0.66%		0.65%		
青少年科学館	68,228	47,561	69.7%	41,978	88.3%	45,034	107.3%	66.0%
構成比	0.56%	0.32%		0.34%		0.35%		
川崎マリエン	0	212,122		177,771	83.8%	178,964	100.7%	
構成比	0.00%	1.45%		1.43%		1.40%		
川崎平和館	0	52,593		39,637	75.4%	42,426	107.0%	
構成比	0.00%	0.36%		0.32%		0.33%		
岡本太郎美術館	0	0		97,773		70,455	72.1%	
構成比	0.00%	0.00%		0.79%		0.55%		
マリノロード	0	28,081		0		0		
構成比	0.00%	0.19%		0.00%		0.00%		
合計	12,116,608	14,654,415	120.9%	12,441,130	84.9%	12,810,636	103.0%	

13. 参考資料一覧

通し番号	該当地域	カテゴリー	書名/題名	著作者/製作者	内容	出版社	著作年	著作月
1	川崎区	行政配布物	アクアラインフル活用術	東京湾アクアライン利用促進委員会 観光実行委員会	アクアライン周辺の観光コースの紹介		2002年	3月
2	川崎区	行政配布物	川崎臨海部探訪マップ	京浜臨海部再開発協議会	臨海部の探訪コースの紹介		1999年	3月
3	川崎区	行政配布物	「水と歴史をいよるどろ・かわさき」～臨海部を巡る	神奈川県川崎地区行政センター	川崎の臨海部を歴史的な視点からを振り返ったもの		1995年	3月
4	川崎区	行政配布物	神奈川県道ルネッサンス街道マップ 歩く・知る・発見する東海道	神奈川県道ルネッサンス推進協議会	東海道沿いの歴史館としての川崎地区の紹介		1999年	6月
5	川崎区	行政配布物	知るたる	東京湾横断道路株式会社	知るたるのパンフレット			3月
6	川崎区	行政配布物	かわさき京浜臨海部「観光」レポート	神奈川県京浜臨海部対面課	平成13年度に実施した観光調査の報告書		2002年	
7	川崎区	行政出版物	東海道川崎街道の作製について	川崎区役所区政推進課	東海道川崎街道を沿った歩道のあちこちづくりのシンボルとして作製した。			
8	川崎区	民間配布物	川崎街道	川崎大師のれん会	川崎駅周辺の観光情報をいよるは歌でマップ化したもの			3月
9	川崎区	民間配布物	大師サマーフェスタ	川崎大師サマーフェスタ実行委員会	チラシ		2002年	5月
10	川崎区	民間配布物	川崎名門コリア食の散歩道	川崎韓国料理協会の会	コリアンタウンマップ			11月
11	川崎区	民間出版物 (書籍)	川崎地名百人一首	川崎市文化財団	川崎の地名を元に百人一首が集まれているもの			7月
12	川崎区	民間出版物 (書籍)	ブルーボーンかわさき2001	川崎精工会館所	クーポン付きの商店情報誌		2001年	11月
13	川崎区	民間出版物 (書籍)	川崎道 街道のあしあと	川崎コクサイクリエイティブセンター	川崎道の歴史からなりたちまで、詳しく紹介		2002年	
14	川崎区	民間出版物 (書籍)	川崎大行き人屋が築いた川崎おもしろ百景	NTT東日本 川崎支店	NTTの社員が旅先と思い入れて川崎のよさを紹介したもの		2002年	3月
15	川崎区	民間出版物 (雑誌)	散歩の達人		川崎駅周辺の観光情報	私刊出版社	2001年	6月
16	幸区	行政配布物	わが町さいわい	幸区役所区政推進課	主要公共施設の連絡先、公費情報			
17	幸区	行政配布物	さいわいガイドマップ	幸区役所区政推進課	幸区の歴史、エリア別見所の紹介。			
18	幸区	行政配布物	わがまちさいわい物語	幸区役所区政推進課	幸区の歴史。			
19	幸区	民間配布物	川崎新西口地区第一種市街地再開発事業	都市基盤整備公団	事業の説明			
20	幸区	民間出版物 (書籍)	かわさきDT	わいず工房	市民の手作りによる川崎のよさ、情報を紹介		2002年	10月
21	中原区	行政配布物	わたしのなかはら	中原区役所区政推進課	中原の歴史、年中行事、見所など、イラスト式。			
22	中原区	行政配布物	市民ミュージアムアクセスマップ	市民ミュージアム	周辺カラーイラストマップ、散策コース。			
23	中原区	民間配布物	文化 なかはら	中原区文化協会	中原区文化協会の会報誌			
24	高津区	行政配布物	キラリ高津の散歩道	高津区役所区政推進課	高津区の見所、イラスト式散策マップ。			
25	高津区	行政配布物	大山街道ふるさと館	大山街道ふるさと館	利用案内。			
26	高津区	行政配布物	大山街道安ウォーディングガイド	大山街道ふるさと館	大山道に關する歴史、イラスト式ガイド。			
27	高津区	行政配布物	川崎市民プラザご利用案内	川崎市民プラザ	施設案内、利用案内。			
28	高津区	行政配布物	ニッケ用永久地内雨水	建設局土木施設部河川課	ニッケ用永および雨排水の紹介			
29	宮前区	行政配布物	みやまえガイドマップ	宮前区役所区政推進課	区の名所70個、名所13館、散策コース。			
30	宮前区	民間配布物	文化 みやまえ	宮前区文化協会	宮前区文化協会の会報誌			
31	宮前区	民間配布物	福本の聖めぐり	宮前福本生産組合	宮前福本の聖のあらし、ガイドマップ。			
32	多摩区	行政配布物	多摩区ガイドマップ	多摩区役所地域振興課	散策ガイド。			
33	多摩区	行政配布物	フルーツパーク		フルーツパークのあらし、案内。			
34	多摩区	行政配布物	高木太郎美術館	高木太郎美術館	美術館の紹介、案内、高木太郎の紹介。			
35	多摩区	行政配布物	日本民家園	日本民家園	民家園の紹介、案内。			
36	多摩区	行政配布物	ニッケ用永せせらぎ	総合企画局企画推進課	せせらぎ路の案内、周辺の見所ガイド。			
37	多摩区	民間配布物	明治歴史記念館 徳政舎歴史資料館 二階内	明治歴史館株式会社	多摩区にある明治歴史館の紹介			4月
38	多摩区	民間配布物	多摩の文化	多摩区文化協会	多摩区文化協会の会報誌			
39	多摩区	民間配布物	みんなで育てる未来の多摩川	NPO法人多摩川センター	多摩川流域の環境について。			
40	厚木区	行政配布物	かわさきマイコンシティ厚木地区	川崎市経済情報政策課(かわさき投資)	厚木地区のF1グランプリ推進事業の紹介			
41	厚木区	民間配布物	からむし	厚木区文化協会	厚木区文化協会の会報誌			

13. 参考資料一覧

通し番号	該当地域	カテゴリー	参考文献名	著者 制作者	内容	出版社	著作年	著作月
42	川崎市全体	行政配布物	かながわの市の名所百選	神奈川県観光工部局観光観光推進課 神奈川県観光協会	神奈川県の名所に關する情報をマップ化			10月
43	川崎市全体	行政配布物	川崎のインフォメーション	川崎市経済局商業観光課	川崎の情報を手帳サイズのパンフレットにまとめたもの		2002年	10月
44	川崎市全体	行政配布物	おいでよ川崎マップ	川崎市経済局商業観光課	川崎市の情報をマップにしたもの		2002年	
45	川崎市全体	行政配布物	かわさき博物館マップ	川崎市博物館等連絡会	市内の公立、民間博物館の案内マップ		2001年	8月
46	川崎市全体	行政配布物	かわさき観光市民クラブひろば61号	市民広報課	川崎市の見所を掲載した情報マップ		2002年	
47	川崎市全体	行政配布物	神奈川県観光地図	神奈川県観光協会	神奈川県の観光情報地図			
48	川崎市全体	行政配布物	川崎歴史博物館マップ	川崎市歴史資料センター	歴史物の直売できるところをマップ化したもの		2002年	
49	川崎市全体	行政配布物	かわさきそだち産地ガイドマップ	かわさき産業史ブランド協議会事務局	かわさき産物ブランド「かわさきそだち」の産地を案内するマップ	かわさき産物ブランド協議会事務局（セシフ川崎農産物産地組合川崎経済産業事務局相模原農産物・川崎市歴史資料センター農業課農産物課）	2002年	
50	川崎市全体	行政配布物	20世紀のかわさき	川崎市市民広報課			2001年	
51	川崎市全体	行政配布物	川崎市観光協会20周年事業報告書（かわさき観光推進事業）	川崎市観光協会連合会（事務局川崎市経済局商業観光課）	市から委託を受けて、川崎の観光推進策について調査研究した（平成13年3月）			
52	川崎市全体	行政配布物	川崎文化名所探検図録川崎文化	川崎文化会	川崎文化名所の探検図			
53	川崎市全体	行政配布物	川崎市国際交流センター	川崎市国際交流センター	国際交流のための施設案内			
54	川崎市全体	行政配布物	市民文化パートナーシップかわさき	財団法人 川崎市文化財団	市民の文化活動の支援をする事業の案内			
55	川崎市全体	行政報告書	川崎市産業遺産保存活用推進報告書	財団法人 地域活性化センター	産業遺産報告書		1992年	3月
56	川崎市全体	行政報告書	川崎市産業遺産保存基本計画推進報告書	財団法人 地域活性化センター	産業遺産報告書		1990年	
57	川崎市全体	行政報告書	川崎イメージアップ誌「川崎情報誌」	株式会社 ライフデザイン研究所				3月
58	川崎市全体	行政報告書	川崎市民間観光資源調査報告書	川崎市市民広報課公報相談課			2000年	3月
59	川崎市全体	行政報告書	川崎市民間観光資源調査報告書	川崎市市民広報課公報相談課			2002年	
60	川崎市全体	行政報告書	川崎市文化マスタープラン	川崎市市民局	文化マスタープランを紹介		1997年	3月
61	川崎市全体	行政報告書	川崎市の文化パワープアップ基本計画推進報告書	川崎市経済局商業観光課			2001年	
62	川崎市全体	行政出版物	川崎物産展	川崎市市民ミュージアム				3月
63	川崎市全体	行政出版物	かわさきのみどり百歩道ガイドマップ	川崎市環境局緑化課緑の課	花、緑、史跡を巡る市内の散歩道の案内マップ			
64	川崎市全体	行政出版物	KAWASAKI GUIDE BOOK2 いま、はなはか、り、さ、き	川崎市（以下、記載なし）	区別の名所を案内した冊子			
65	川崎市全体	行政出版物	クォーターリーかわさき	川崎市市民局市民文化課/川崎市文化広場	川崎の特色や文化について巻く冊子。55号まであるが休刊中。			
66	川崎市全体	行政出版物	神奈川なんでもちかもチャーム	神奈川県観光協会・神奈川県観光推進課	県内の自然、歴史、グルメ、テーマパーク等を全般的に案内。			
67	川崎市全体	行政出版物	川崎市区内名所名物なんでも70選	川崎市企画財政企業課	川崎市が70周年記念事業として、各区の名所を市民から情報を収集してまとめている。			
68	川崎市全体	行政出版物	KAWASAKI INTERNATIONAL ASSOCIATION 財団法人 川崎市国際交流協会	財団法人 川崎市国際交流協会	会の案内。国際交流事業やボランティアの育成を行う。			
69	川崎市全体	行政出版物	各種団体名簿（観光協会）	観光協	観光協会会長の氏名、連絡先等			
70	川崎市全体	民間配布物	神奈川県観光マップ	神奈川県観光推進課環境衛生課	神奈川県の名所に關する情報をマップ化		1999年	
71	川崎市全体	民間配布物	東京新聞 TODAY	東京新聞	川崎区・幸区・中原区・高津区・川崎市鶴見区に配布。週刊生活情報誌			
72	その他	行政配布物	Kawasaki City Sister and Friendship Cities Around the World	川崎市国際交流推進課	姉妹都市等の案内マップ			
73	その他	行政配布物	多摩川ガイドブック	多摩川下流水質事故防止協議会	流域ですすめウォーキングコース			
74	その他	民間配布物	深草会案内	筑波大学音楽学部/大学院	年間の演奏会日程内容等の案内冊子			
75	その他	民間配布物	北の便台	北の総務広場連絡会	市内に散在する他業の滞在を生かした便台の出発地案内			
76	その他	民間出版物（雑誌）	月刊ANTA	社団法人 全国旅行業協会	観光業についての月刊誌			
77	その他	民間出版物（雑誌）	多摩人	（株）セントストーン	多摩川流域の名所などの紹介。			
78	その他	その他	人物かわさき史話	川崎区協賛研究会	川崎の歴史系人物の面から掘り下げていく	神奈川新聞連載		

15. 平成14年度政策課題研究Aチーム活動記録

平成15年3月31日作成

	研究会開催日	場所	内容
1	7月25日	総合企画局会議室	川崎市の観光の現状についての研究員の問題意識の整理
2	8月8日	麻生区役所 多摩区役所	麻生区 多摩区の観光の現状についてヒアリング
3	8月13日	総合企画局会議室	観光情報データベース事業のヒアリング
4	8月22日	川崎区役所 総合企画局会議室	川崎区の観光に関する取り組みのヒアリング ヒアリングを通じた川崎市の観光の問題点に関する整理
5	9月5日	生田緑地	
6	9月11日	総合企画局会議室	川崎区における研究対象の選定
7	9月12日	日本民家園 岡本太郎美術館 多摩区役所	現地調査
8	9月17日	総合企画局会議室	川崎市の文化行政に関するヒアリング 論点の整理
9	9月24日	港湾局 総合企画局	川崎区臨海部を海上より視察 臨海部整備推進室ヒアリング
10	9月25日	総合企画局会議室	川崎市の都市観光が目指すべきものの整理
11	10月10日	総合企画局会議室	各政令市の観光振興への取り組みの整理 調査 比較内容の検討 集めた情報の整理
12	10月22日	総合企画局会議室	中間発表に向けて
13	10月29日	総合企画局会議室	中間発表に向けて 2
14	11月15日	第3庁舎環境局公園緑地課	ヒアリング
15		川崎区役所	川崎区ヒアリング
16	11月26日	総合企画局会議室	中間発表に関する総括 マスタープランの必要性について 川崎班 多摩班の今後について
17	12月8日	川崎区 多摩区	班別まち歩き
18	12月10日	総合企画局会議室	川崎市の観光振興計画の必要性について1 川崎市の観光振興マスタープランのあり方・方向性
19	12月17日	総合企画局会議室	班別研究の進捗状況について アンケートの実施について(公衆浴場 通称地名)
20	12月25日	総合企画局会議室	川崎市の観光振興計画の必要性について2 13大都市における観光課題に対する比較について
21	1月15日	総合企画局会議室	13大都市の観光課題・観光振興にかかわる比較分析
22	1月17日	生田緑地	生田緑地現地調査
23	1月24日	総合企画局会議室	川崎区の観光振興について アンケートの集計結果について(公衆浴場 通称)
24	1月28日	総合企画局会議室	報告書の構成について 観光振興施策提案書の作成
25	2月12日	経済局会議室	川崎区の観光振興について 川崎区の観光コミュニティバスツアーの可能性を探る
26	2月13日	立川市昭和記念公園	多摩班による視察
27	2月24日	総合企画局会議室	報告書の作成・編集
28	3月6日	総合企画局会議室	報告書の作成・編集
29	3月15日	経済局会議室	報告書の作成・編集
30	3月24日	経済局会議室等	報告書の作成・編集
31	3月26日	総合企画局会議室	報告書の作成・編集

おわりに

本チームが研究に取り組んできた「まちを観る～『都市観光を』キーワードとした地域文化の再発見と地域振興」というテーマの大きな柱として掲げたのは、川崎市の都市観光を考える上でエコツーリズムを基軸にするという基本方針であった。この研究において「都市観光」をどのように捉えるのか、その概念が奥深いものであることから、チーム全体としての統一した概念と目標が明確になるまでには試行錯誤の日々が続いた。

しかし、この基本方針の設定をスタートとして、川崎市という全体の地域の中には多種多様な個性あふれる地域資源が現存しており、こういった地域資源を保護、保全していくことによって地域振興が図られ、そこから観光業の成立へと昇華させるといふ、川崎型エコツーリズムの循環構造の構築という方向性が導きだされた。

そして、その方向性に沿って具体的な提言をするために、必要な課題の設定を図り、地域内に現存されている地域資源に関する情報の抽出・整理をし、いかにして人々に興味を持たせる情報の発信できるかについて検討を重ねた。

臨海部など工業都市のイメージがある川崎区は、工業というイメージが強く、本市の歴史において公害などマイナスの印象が持たれがちであるが、むしろ工業というものをプラスのイメージとして活用できないか。

都心部近郊の住宅都市のイメージのある多摩区では、川崎都民という言葉を目にするように日々の生活の視点が都心に向いている状況がある。そのような状況から、自分達が暮らすまち川崎に振り向かせるために住みやすさを備えた地域に着目し、この特性を活かしたものが無いだろうか。

こうした二つの個性ある地域をモデルにケーススタディーを実施しながら、さまざまな形態によるニーズ調査も行い、これらの分析結果を踏まえ、具体的な提案を打ち出した。そのひとつが、効果的な情報発信のためのシステム体制の構築である。

魅力があり、驚きと可能性のある地域資源を掘り起こすことによって、川崎らしさのある都市観光を発展させていくことが重要であり、そのために情報をどのように見せる手法が必要なのか、地域全体に関わる人全ての力を融合させることで、その可能性が見えてくると信じてやまない。一人ではできないこともみんなが力を合わせれば可能になることがあるように。

最後に本研究に際し、御協力いただきました各職場の方々並びに研究の運営など全般にわたりバックアップいただき、このような市職員としての自己育成のための研究の機会を設けていただいた総合企画局政策部の中村・鈴木・鴻巣様、専門的な助言をいただき多大なご尽力をいただいた総合企画局政策部専門調査員の小野様、そして我々の研究において研究の目的や趣旨を理解いただき、快くこの研究に送り出してくださいました職場の皆様にご心より感謝申し上げます。

報告書名 まちを観る～「都市観光」をキーワード
とした地域文化の再発見と地域振興

平成14年度 研究チームA報告書

発行日 平成15年3月31日発行

発行 川崎市総合企画局政策部
〒210-8577
電話 (044) 200-3708
FAX (044) 200-3800

川崎市総合企画局政策部

〒210-8577

川崎市川崎区宮本町1

電話 (044)200-3708 定価 500円